

千葉大学
ねのはな
同窓会報

編集 千葉大学医学部
みのはな同窓会
報 学生編集部
発行者 山崎 寛一
千葉市亥鼻町313番地

和洋
新刊
医藥學書
看護學書
助産婦學書
專門販売
(千葉大医学部教科書、参考書指定販売店)
メジカル書院

学校・図書館
 病院 御用達
 電話 千葉大学医学部西門前
 (22) 七九四三・九三五九

総会のお知らせ

昭和四十二年度のはな同窓会総会を、左記の要領で開催いたします。ご多用のこととは存じますが、全会員奮って御出席下さいませ。すよう御案内申し上げます。

で、同窓会本部宛お送り下さい。議案の採択
討論順位等については常任理事会に御一任願
います。

理事会

総会当日（七月九日）午前十二時から、記
念講堂附階会議室において理事会を開催いた
します。理事の方は必ず御出席下さいませよ
う御案内申し上げます。

名簿の補充・訂正

昨年発行されたものは、同窓会会員名簿は昭和四十一年三月末日現在のものですが、その後各地において番地変更があり、さらには勤務地、職名、電話などの異動も加わって、会員の皆様に御迷惑をおかけしております。次回の名簿の発行は昭和四十四年になりますので、今回は現在発行されている名簿の補充訂正号をお手許にお届けすべく努力しております。同窓会総会までに完成する予定です。お氣付の点がございましたら本部宛御連絡願います。

軌道にのる 構想など決定す

新病院建設設計間も、来年度着手のために、六月下旬までに概算請求を出さねばならず、急速に進行している。新病院基本構想、看護婦寮建設、現病院利用法等を具体的に決定した。一方、中央との話し合いも始まり、着実に進んでいる。

新病院建設計画も進み、基本構想として、①診療科、講座直結の今までの方法を改め、診療科単位の病院を作る ②中央診療方法をと、中央検査室、中央レントゲン室、中央RⅠ室、中央材料室、中央病歴室、中央手術室などを作る予定である。③小児センターを作る。④リハビリテーションセンターを作る。⑤救急センターを作るなどが決定した。

看護婦寮建設計画は、八月下旬着工の予定となり、規模は総面積二千七百四十平方呎、五階建てに決定したが、詳細は今後決定の予定である。建設予定地は第一学生寮（旧基礎の一部）の付近である。

一方現病院利用部会では、会合を重ね、現病院利用法として、腐敗研究所がどこに入り、医学部がどこに入るかの大筋を決定した。これによると、病院東側一階から



看護婦寮建設予定地の第一学生寮

第二 生化学出来るか

今国会で法案成立後

と。二、三年の短期間のうちに作
ってほしいとの二点を強調し
た。文部省側はかなり友好的で、
本学の考え方を理解し、協力した
と言った。

本学の生化学教室に新たに第二生化学教室が新設されることがほぼ確定した。以前から学会方面の強い要望があり、六月に学校教育法の一部改正案が国会に提出された。この法案が通過次第予算が下り、本学の第一生化学教室の新設が正式に認可されるわけである。この第二生化学教室は、旧六大学の名、助手、作業員各三名、計六名から成る予定である。教授の一人では東大以外の大学にあり、本学が今度金沢大学に次いでできるくらいであるが、または、きり

論説
同窓会報に思う

同窓会報編集部

ののは同窓会報も本号で三千四号と
 なり初発行より八年になるが、われわれ
 編集部自身当報に關して現在十分に満足
 すべき新聞であるとは思つてゐない。
 我がが考えるに、当報には二つの大きな
 使命がある。一つは、名の示すように
 同窓会の様子を知らせることであり、ま
 た同窓会員に学校の様子を知らせること
 である。これらを通して同窓会を盛り上
 げひいては本学を盛り上げて行くこと
 である。我々はこれを希望し、かつ果た
 するために努力しているが、學生が編集し
 ているため、先輩諸先生方から御意見を
 聞いたりする以外に方法がないのが実状
 であるが、投稿をお願いしても一向に届
 かない状態で、投稿して下さる先生方も
 決つてしまつてゐる。学校に対する不満、
 地方での本学卒業生の様子、新聞を読ん
 での感想など、何でも参考になるのであ
 る。「同窓会が盛んになつた」などとい
 うことを耳にするがまだまではない
 だろうか。いや我々は前と變りないと思
 へない。なぜなら同窓会の発展はコミ
 ュニケーションが盛んにならないと一向

千葉大学は二つの大きな事件を起し、むせばよいのであるが、技術的並びに世間に汚名を残した。その後、学内、同窓会上げて、汚名を取り除くように努力することになった。しかし、その同窓会が、現在のような状態で出来るのか不安である。先輩先生方も、大なり小なりの影響があったと思う。二つの大きな事件以外にも、学内、同窓会には問題が多くある。先輩諸先生方に大いに奮起してもらう必要がある。それらが我々、編集するエネルギー源になるのである。

第二の使命は、当報が本学唯一の公的式で編集部へ送ってほしい。匿名の取

人事異動

昇任
手塚統夫 生化学講師
釜沢正昭 附属病院講師
採用

人事往来

	瀧沢延次郎	四十二年五月二十
	寛弘貳年	日頃から台湾へ
×	弘毅	米國及び歐洲各國へ
×		
×		



エリートなあなたにお贈りする

クロスハート7。

——県内随一のサービス網を誇る——

千葉トヨペット株式会社

本社・千葉市稲毛海岸1-23 TEL 41-1181(大代表)

ゐのはな同窓会編集部

四月上旬千葉大に名古屋大学四
十一年度実地修練生一同より次の
様なプリントが送られて来た。
「青医連中央執行部が千葉大学
の实地修練生に対して加えた悪
罵と誹謗に断固抗議する。」
青医連通達第三十号はその闘争
の経緯を記し、この年、この闘争は、
いささかでも役立つと思ってい
るのだろうか。断じて否である
おまへ真面目な修練生医学生な
らば、この筆者の非論理的な罵
言にあき果て青医連指導部の
品位を疑わざるを得ないだろ
う。……この数年は
「青年医師」の気風にもと
う青医連の指導部は、これまでこのよ
う立場に立たなかった。……
もしい青医連指導部の諸君が
の医学医療の革新闘争の一
担ついでと自負される

のである。學内イ委員會で賛否権を持ちながらも、イ委員會の決議に従わなくてもよいことになる。本来の姿は、自治会が加わ	たなり、前記したように、医進課程からのイ問題討論をするように學内イ委員會で方法を講じればよい。
り學内イ委員會の決議に従うという形の、學内イ委員會を確立しなければならない。學生委員會が、イ問題を知らない學一から學四までで構成されていて、最大編纂部は、學生イ委員會、及び	また、一般學生も同様であるが學生イ委員會の内部でも、アンチ左派、左派とグループを作り、末梢の問題でいがみあっている。我々討論するところが決定した一、學も、この様な形で討
高決議機関にするのが無理である。學生は、感情論争をやめ、純粋に	進めていくように望む。

我々編集部はこの様に中央に対する本学イデオロギのあり方にも疑問をもつ。本学は中央における立場をもっと明確にすべきである。同時に、名古屋大をはじめとして他の校の考え方、様子を知らねばべき

判断を生む材料になるのである。しかし、現在学内が十分にまとまっていけないので、中央へ明確な態度を示すことは無理であるかもしれないが、少なくとも、この様な事実のあったことがもっと大きく学内に知らされるべきである。

最後に、中央では千葉大を東日本体育大会から除名しようとしている一部の人がいる噂を聞いた。このままの状態では、このような事態も生じかねない。

無関心と弱体な組織

学内インサイダー争いにおいて、不可解なことが多く、過去のイデオロギー争いは偏見の魚目混珠をもった少数の人々の指導の下に進められたといつても過言でない。それにより干渉がある。それが、学生の無関心さである。それが、学生の無関心さである。

部に対する批判や、不信任を聞かなくてもすんだのではないだろう。か。年度末になって、そのような意見を出す学生側にも多いに問題がある。それが、学生の無関心さである。

の医進課程に問題がある。医進課程では手口問題が討論されない状態である。そして学部に来て急に問題化する。これでは考える時間が無い。この問題は、学部のイデオロギー説明会などの形、プリン

学生の無関心

教育を行なわなかったことにより、現在の千葉大が中央のこととも良く分らず、学生間でも政治思想上の問題でこたへたらしい。過去のイデオロギー、いかなる理由であるか、われわれには理解しかねるが中央の考え方を、正しく客観的に本学での討論の中に入れることを嫌い、行なつてこなかった。そのことは、毎年、卒業直前に「一般学生の意見」に（ほとんどの学生は）「東京の大学と自然との交流は盛んで、自然に盛り上がる。」が、千葉大は東京から一時間余で見えたら、同じ一時間でも横浜地方大学といへず、また、東京などとは感じが異り田舎に思ふ。東京の大学との交流も一寸、遠くなる。この様なわけで、千葉大は自然とのんびりしい問題にも無関係である。

トク、地理性で自然に団決する問題は、拓殖大学（二二三）

弱体な組織

学生の無関心さが、イ問題を話

本学の最近の動き

学四合宿開く

四月七日から三日間、西主主催のインターン問題合宿が行われた。参加者三十二名（学四・二一、学三・三名、学一・二名）で東大より学四一名、医局員一名を迎え、基本的問題から討論された。結果はプリントされ、学生に配られたが、今後の方針については時間切れで結果が得られず、今後の討論にまかされることになった。

学会最終客案」について錦学部長を招いて二時間余のたう、クラス討論会を開催した。

学部長は、医者懇の性格と各員各位の熱意について相違の時間をかけて「天下りの会である医学部長、病院長会議が、厚生省、文部省に對して、意見を求むる会を設置するよう要求して

学四・学部長と
話し合う

.....

東日本^{体育}大会 除名の噂も

中央を無理解な本学

四月上旬千葉大に名古屋大学四十二年度実地修練生一同より次の様なプリントが送られて来た。

『青医連中央執行部が千葉大学のの実地修練生に対して加えた悪罵と誹謗に断固抗議する。』

青医連通達第三十号はその闘争報告の中で千葉大学の修練生に対してあらん限りの罵詈雑言を投げつけている。我々の東海ブロックの闘いに関しても事実とかけはなれた報告がなされているが、それ以上に千葉大学の修練生に加えられた侮辱的な言語を黙視するわけにはいかない。

一体青医連指導部は「千葉大は……スト破りである」と今更のように悟り、みじめたらしくもカッコ悪くも退場」というような下劣な一文が全国の修練生の士気を鼓舞し、今後の闘いに

いふまでも役立つと思っているのだろうか。断じて否である。およそ真面目な修練生医学生ならば、この筆者の非論理的な罵言にあき果て青医連指導部の品位を疑わざるを得ないだろう。

……この数年は日本の医学医療の偉大な変革の一時期である。ますます多くの医学生、修練生、無給医その他の医師が現在の運動と共に将来の運動に参加しつつある。

このような時期にあつてはこの運動の方向戦術をめぐっているような意見の相違があるのはむしろ当然のことである。かくして異なる理論については科学的な立場から互いに節度ある批判をし合つて高め合はばよく、何よりも具体的な実践運動の中でその正しさが証明されねばなら

ないのである。ところが、連指導部はこれまでこのよう立場に立たつてはこなかった。もし青医連指導部の諸君がの医学医療の変革闘争の一担していると自負される『青年医師』の気風にもと一切の言動を今後けつして行きてでないと確信する。よつての手はじめに千葉大の修練に対する上記の誹謗文を取消罪文を掲載するよう強く要する。』

この様に名古屋大学は青医連千葉大に対する態度についているが、当の千葉大では何事なのか、一向に青医連に対する返事をしていない。知らされてい

ないのか、この様なことが学運の説明、中央の考えなど

学内に知られるべきである。
 最後に、中央では千葉大を東日本
 本体育大会から除名しようとして
 いる一部の人がいる噂を聞いた。
 このままの状態では、この様な事
 態も生じかねない。

投稿を望む

我々編集部は、今回寮問題につ
 いて学生の投稿が一つあったこと
 を喜んでいる。インターン問題、
 学内問題、学校に対する不満など
 どんなささいなことでも良い。我
 々は学生の投稿の増えることを望
 んでいる。どしどし投稿がくるこ
 とを待っている。

んのは同窓会報編集部

× × ×

投稿を望む

我々編集部は、今回寮問題について学生の投稿が一つあったこととを喜んでゐる。インターン問題、学内問題、学校に対する不満など、どんなきらいなことも良い。我々には学生の投稿の増えることを望んでゐる。そしてこの投稿がいろいろとを待っている。

インターン委員決定

委員 長	星 亮巳
副委員 長 兼書記	細井湧一
會計	入江公字

学内集会開く

四・二八デモ参加

五月十二日、医学連、青医
連主催による仮免反対、医師法
改悪反対、医療患者阻止などの
スローガンで統一デモが行なわ
れた。本学は学芸を除いて午後
三時より参加する。上野公園に
集まり、約五百人から十人以上
の参加のもと清水谷公園で決起
行進した。このとき、文部省に
向けデモを行った。

眼	科	必	携
内	科	必	携
外	科	必	携
精	神	神	携
神	經	科	携
衛	生	公	携
生	公	衆	携
衛	生	学	携
日	英	独	携
語	病	歴	携
			引

医師のための英会話1 医学生のための英会話 ソノシート5

加藤・松井	¥ 1,500
五島雄一郎	¥ 2,000
井上・雄著	¥ 1,500
牧田・保崎	¥ 1,500
堀内・大和田	¥ 1,500
東福寺・亀井	¥ 800
森谷・藤樹著	¥ 1,300
高階経和著	¥ 1,500
文付	¥ 1,500

每週土曜日発行

100,000 医人の週刊医学雑誌

週刊 日本医事新報

清新潑刺・充實無比

「学説」「学会印象記」「画報」「MEDICAL ESSAY」「時論」
「ニュース」「週一話」「私の考え方」「質疑応答」「閑窓夜話」
「東銀座だより」「医事案内」その他

日 本 医 事 新 報 社

東京都中央区(京橋局区内)銀座東 2-11
TEL(541) 3344(代表)・振替 25171 番

最も親切なる

臨床医家の好伴侶

B5判
定価
三六
力月
二一
三〇
〇〇
円

百数十頁
一部九〇
五〇〇円

送料
送料
送料
共
共
共

.....

三、同窓会資料室の設定 わせるためには、今までと同じければ、一つのデモンストレーの活動がスムーズに行くならば、同窓会資料は、年々逸散して考え方では、どう苦心したところ ションになる。 寄与する点も少なからずはある。しまつ。思い立ったが吉日として 駄目だ。この際考え方の切 その他についても役に立たぬ まいと考え。

青春の名残を酌み

伊東先生の墓参す

と会といつても同窓会にはなほ、翌二十六日、浜松市内見栄、いただけた事は、先生と御別れし、薄い名であるかも知れない、伊東先生御生家の前を通り御墓の、それから満八年、今更に御健在の頃、徳会は当初は、千葉大学眼、ある菩提寺において、御供養御墓の厳格にして温懷、指導者としての御自信に満ちた先生の御叱り、室同窓会であつた。中途か參。

伊東先生門下の同窓会にまつたが、千葉大学眼科學會信雄、佐藤清松、朝岡唯夫、清水英雄、筒井栄、須藤克己、丹羽勝良次郎、久富良次、鈴木宣民、鈴木敏、水野有、千葉保次、三回位の一泊旅行を伊東先生を中心にして行っている市川順廣、吉村善昭、朝岡至日、月十五日、先生のご命日大山茂、村尾勉、松永幹、木村泰盛、今年ば、奈良に仏像見学を企画した。浜名湖観光ホテル一鈴木孝夫、毛塚将吉、平形義人、

秋十一月、京都一泊旅行、桂離宮、修学院臨駕拝觀をかねて明德寺、御同伴多数三十名位参加ししてゐる。

簡井榮昭六十年(辛巳)は、奈良に仏像見学を企図したのである。

罹災見舞募金についての報
ることに決まった。

り、支部会員名簿を作成す

石塚 古屋記

年記念クラス会

違の級だには、一名の戦死者と戦争または、戦争の影におびる、または戦災による物故者で過して来たことか、それによる物故者のなかった事は稀な事である。昨年八月卒業三十五周年記念する。九月満州事変が始まり、アルバム「其の後」を完成した。

の方法として、千葉のあり方であるが、右を月の十日から二十日とする。

午前中に、臨床、基

五、むすび

以上の事は、私は事あること

考えれば実行可能な事であらう。私達も知人に逢えて午後から分科会に出席できるなれば千里を遠しとせず出かけるだらう。

会を立会式パーティー
校は各科の分科会、会
来市を総動員すれば可
町、町の所々に、干
○分科会の立看板が
ることはまたない。

る千葉大学医学部のデモン
ストレーションにもなろうし、
各分科会の懇親会
は各分科会の懇親会
が開かれこれに対しても、
同窓会の本
新病院が建設されるときが、
金募集というのに対しても、
プレキになりにかねない。近
的意識がチラチラしては、寄付
講堂の寄付金というように目
的意識がチラチラしては、寄付

一つのデモンストレーの活動がスムーズに行くならば、
寄与する点も少なくはないであろう。
についても役に立たぬ
まいと考える。

佐々木芳岡、余京華、伊藤退助、後藤願藏、高野俊男、北村玲子、羽鳥弘、他に御同伴、御子様連もあわせて五十余名、盛会のうちに終る。

かくの如く遠近から多数御参加
いただいた事は、先生と御別れし
てから満八年、今更に御健在の頃
の嚴格にして温懷、指導者として
の御自慊に満ちた先生の御叱り、
御励ましを願つて期せずしてこの
盛会となった事であらう。

秋十二月、京都一泊旅行、桂離
宮、修学院離宮拝観をかねて明徳
会旅行、これも伊東先生奥様をはは
じめ、御同伴多数三十名位参加し
て盛会であつた。

今年は、奈良に仏像見学を企画
している。筒井 栄昭六年卒記

昨年十月、長野県浅間温泉で百瀬孝男君の御世話で卒業三十五周年記念のクラス会を催すことができた。毎年、級会は続いているが、今後ともかかる盛会を持続して相互の健康を祝したい。しかし

三十五年の暦月もいつか消えてしまつて、高等學校を出て、ゐのはな山に勢揃ひした頃の童心に返つて今後何十年もこのまま元気で生きる様な氣持になつた。あくる日は、バス旅行で善光寺から「恩恵」

た。また来年を期して。

当日参加者の芳名順不同

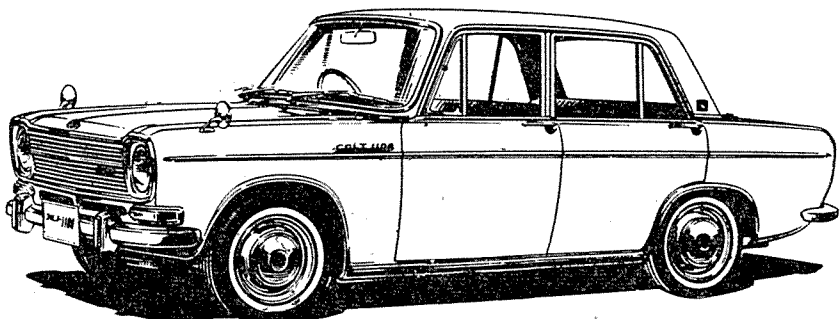
◎玉岡誠。異教男(昭二十年)。

戸崎茂樹(昭三十五年)。戸崎君は数度同窓会名簿で物故者欄に出ていたがこれは私達世話人の不手際。感知の皆様は御わび申上じ

ます。しかしこれも縁起がいいというところであるから戸崎君は往年の美青年そのままであった。近藤素生（旧本雄）◎高村勝。◎白鹿孝男。池田英雄。◎清水英政。十塚三八雄。後藤与四三。◎池田修

井栄、橋本貴久馬、尾林秀春、海保保、鈴木孝輔。◎は御同伴、以下三十四名。

会は独りでに滑って行く、級会の
楽しさは何時になっても變りがな
い。とにかく級会に出て下さい。



本格派 4 ドアセダン

コルセー 1100

実証ずみの高性能・経済性・耐久性

1100 cc/58PS

三菱自動車販売(株) 特約販売店

千葉三菱コルト自動車販売株式会社

千葉市都町255 TEL 千葉 (27)7131(大代表)